

前回出口修さんは江戸時代の八幡の社務と社士の対立のお話をして下さいました。社務家とは田中家、善法寺家、新善法寺家で江戸時代の将軍が変わるごとに三家で社務を回職。神領を支配する立場。今回のお話では 1822 年社士(神領に仕える神職)の方から新善法寺敷地内に牢屋設置反対の願書が出されたことから起こりました。社士が代表 10 数名で「社務権威の押しつけ～」と京都東町奉行所に出訴しましたが、何度も棄却が何度も繰り返されました。



(たんけん八幡から 室町時代の門限町)

- ① 日時 2026年1月22日(木)1時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07
5-983-3664
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net 作られた
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。